

公表

## 事業所における自己評価結果

事業所名	フォレストキッズ川崎教室		公表日		令和7年 3月 17日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	0	・必要に応じてパーティションを有効活用し、個々の活動空間を確保している。 ・利用者一人ひとりのニーズに応じた教室内の環境整備に努めている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	0	・常勤職員4名を配置している。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	0	・活動に不必要なものを遮断し、活動に集中できるように環境整備をしている。 ・掲示物を有効活用し、活動のルールをイラストや記号、文字などで示し、利用者が一目で見て理解できるように工夫している。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	0	・職員で毎日清掃を行い、清潔で心地よく過ごせる環境を提供している。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	0	・必要に応じて、セレクト活動エリアや児童用の手洗い場をクールダウンの場として有効活用している。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4	0	・毎日のミーティング等で職員間の情報共有を密に行い、業務改善に努めている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0	・保護者に対して、毎年事業所評価を実施している。 ・保護者からのご意見については、職員間で毎度情報共有を行い、今後の事業所運営に活かすための方法について話し合い、日々業務改善に努めている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0	・上長による1on1面談を定期的実施したり、毎朝の教室ミーティング、週1回の運営会社とのミーティングを実施しながら、業務改善に努めている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	4	・第三者評価は受審していない。	・第三者評価は受審していないが、今後も、地域に開かれた事業所運営を行えるよう、外部機関との連携が図れるように努めていく。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	0	・大阪医科薬科大学LDセンターの研修や感覚統合学会の研修など、積極的に外部研修を活用し、発達特性の理解や指導方法等について学習することで、支援の質を高めていけるように努めている。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4	0	・教室のホームページにて、支援プログラムを公表している。	

12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	4	0	・毎回の支援後のフィードバックや電話、LINE等で日頃より保護者と連絡を密に取り合い、個々のニーズを把握できるように努めている。 ・また、家庭の様子、園や学校の様子の情報共有、今後の事業所での取り組み等を検討するために、定期的に保護者面談を行っている。	
13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4	0	・職員全員が参加し、サービス担当者会議を行っている。	
14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	0	・児童発達支援計画に沿った支援を組み立てることができるように努めている。	
15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	0	・法人で定められたアセスメントシートを使用している。 ・職員間での日々の情報共有を欠かさずに行い、必ず複数の視点でアセスメントをした上で、支援に活かしている。	
16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	0	・児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインで示す支援内容から、支援に必要な項目を適切に設定し、具体的な支援内容を定めるように努めている。	
17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	0	・職員間で日々情報交換を密に行い、共通理解を深めていくことで、支援プログラムの立案をチームで行っている。	
18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	0	・支援プログラムが固定化しないように、職員間で情報交換を密に行い、日々教材研究に努めている。	
19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	0	4	・保護者の要望等により、現在は個別療育を中心に行っている。	・今後、保護者からの要望に応じて、小集団療育も実施できるように検討していく。
20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	0	・前回の利用者の様子や取り組み内容を踏まえて支援を行うことができるように、職員間での打ち合わせを実施している。	
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	0	・支援終了後には、職員間での打ち合わせを行い、情報共有をして、次回以降の支援に活かすことができるように努めている。	
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4	0	・日々の支援の記録を確実にし、職員間で情報共有ができるようにしている。 ・次回以降の支援について、支援内容や指導方法の検証、改善につなげていけるように努めている。	

	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	0	・現状での達成度や今後の課題について、しっかり話し合い、全職員参加体制でモニタリングを定期的に行っている。		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	0	・管理者・児童発達支援管理責任者を中心に参加するように努めている。		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	0	・保護者の要望等により、児童が通園している幼保への訪問、園とのケース会議の実施等に努め、多角的な視点で児童を支援することに努めている。		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	0	・保護者の要望等により、児童が通園している幼保への訪問、園とのケース会議の実施等に努め、多角的な視点で児童を支援することに努めている。		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	2	2	・就学先について、保護者と情報共有を密に行い、一人ひとりの進路に向けた情報提供などのサポートを行っている。	・今後も、保護者からの要望に応じて、小学校等との連携を図り、一人ひとりの進路に向けたサポートができるように努める。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	/				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。					
	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。					
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。					
		32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	0	4	・保護者からの要望に応じて、利用者が通っている保育所等と連携が取れるように努めている。	・今後も、保護者からの要望に応じて、関係機関への訪問等を行い、地域に開かれた事業所運営に努める。
		33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4	0	・支援終了後には、職員間での打ち合わせを行い、情報共有をして、次回以降の支援に活かすことができるように努めている。	

	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援後のフィードバック時や保護者面談時などに、園や家庭等での様子について、情報共有を行い、発達特性に合わせた声かけや掲示物の有効活用について、保護者とともに検討していけるように努めている。</li> <li>・また、定期的に保護者面談を実施し、家族支援についての情報提供をしている。</li> </ul>	
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・契約時に保護者に説明を行い、理解を得ている。</li> <li>・また、保護者が常時閲覧できるように、教室内に掲示している。</li> </ul>	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者面談を通じて、日々の児童の様子、成果や課題を整理し、課題解決に向けての手立てを計画にまとめている。</li> <li>・また、児童が複数の指導員と支援に関わることで、一人ひとりの興味関心や要求、拒否などをコミュニケーションの中から引き出せるように努めている。</li> </ul>	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	4	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援後のフィードバック時や保護者面談時での情報共有をもとに、書類を作成し、保護者にしっかりと説明した上で、同意を得ている。</li> </ul>	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援後のフィードバック時や保護者面談時などに、園や家庭等での様子について、情報共有を行っている。</li> </ul>	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援後のフィードバック時や保護者面談時などに、一人ひとりの保護者の困りごと等を把握し、課題解決に向けて支援できるように努めている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後、保護者会等の開催ができるよう、保護者同士の連携を支援できるように努める。</li> </ul>
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援終了後に、職員間で情報共有を行い、保護者からの相談や申入れについて、早期対応できるように努めている。</li> </ul>	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教室ブログやインスタグラム等、SNSを有効活用し、利用者、保護者のみならず、外部に向けた情報も発信できるように周知活動を行っている。</li> </ul>	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の個人情報書類に関しては、ファイルで管理した上で、施錠できる書庫での保管を徹底している。</li> <li>・また、机上整理に努め、個人情報の紛失や漏洩がないように努めている。</li> </ul>	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・担当制での支援提供を行っていないため、毎回職員間で支援内容や利用者の様子などを引き継いでいる。</li> <li>・支援後のフィードバック時や保護者面談時での様子などを職員間で情報共有し、次回以降の支援に活かせるように努めている。</li> </ul>	

	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	3	・幼保、療育センター、他事業所等の専門機関と連携を図り、地域特性のニーズ分析を行いながら、地域に根差した事業所運営に努めている。	・今後、「親子教室」など、地域住民の方が気軽に参加できるイベントを開催できるよう、地域に根差したサポート体制を作れるように努める。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	0	・教室の安全計画に基づき、定期的に訓練や研修会等の実施を行い、緊急の災害時等に備えている。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	0	・自然災害、感染症対策の業務継続計画（BCP）を策定し、教室の安全計画に基づき、定期的に訓練や研修会等を行い、緊急の災害時等に備えている。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4	0	・契約時に必ず聞き取り、利用者の基本情報シートに記入をし、必ず職員間で情報共有を行っている。 ・また、医師からの診断書や意見書、発達検査の結果等を必ず職員全員で情報共有している。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	0	・契約時に必ず聞き取り、利用者の基本情報シートに記入をし、職員間で必ず情報共有を行っている。 ・事業所では食事を提供していない。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	0	・安全計画を作成し、計画に基づき、定期的に訓練や研修会等を行うことで、教室内外の安全管理を図り、緊急の災害時等に備えている。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	0	・教室で作成した「自然災害発生時における対応方針」に基づき、いろいろな自然災害が起こりうることを想定して保護者に事前説明、案内の配布を行い、緊急時の対応を周知している。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	0	・ヒヤリハットがあった場合には、ヒヤリハット表に必ず記入をし、同じ内容でのヒヤリハットを起こさないように、今後の対策を職員全員で協議している。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	0	・事業所内等の研修を受け、対応方法を学習し、実践している。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4	0	・契約時に、保護者にしっかりと説明を行い、理解を得ている。	